

飯山満町2丁目の「モチノキ」の巨木の保全に関する請願

[願意]

このモチノキは、歴史ある飯山満地区に残る市内最大の貴重な古木です。
現状保存あるいは移植保存をお願いします。

[理由]

飯山満駅周辺の土地区画整理事業に伴う東福寺周辺の市道拡幅工事で、飯山満町2丁目981番地先にあるこの「モチノキ」の巨木を伐採する必要があるとお聞きしました。

この「モチノキ」は真言宗・東福寺と道路を隔てて隣接し、寺の歴史とまた旧飯山満村の歴史と共に樹齢を重ねて来たと思われます。現在、民家の敷地の中にあり、その根の張りは土塁上をおおい、稀に見る見事な巨木であります。

この地は旧飯山満村の高野と呼ばれる所で、東福寺は延宝の初年（約340年前）には立派なお寺であったと「船橋市・市史前編」に記されています。道路を隔て隣接するこの「モチノキ」も、この飯山満村が起こってから間もなく植えられ、代々守り育てられてきたものと思われます。

この高野の台地のすぐ下に、かつて「揺るぎの松」と言う、近在でも著名な老松がありました。松は枯れましたが、この木から彫られた二体の地蔵像（市の文化財・木喰僧観信の作）は、今も近くの住民により小祠の中でしっかりと護られています。

近年、急速に飯山満の町は発展しようとしています。鉄道も通り新しい住宅も建ちました。新しい街に変貌してゆくことは地域の発展にも繋がり好ましい事と理解しております。その新しい街の中に、飯山満地区の歴史を後世に伝える象徴として、また市の貴重な遺産としてこの「モチノキ」を残して行きたいと思っています。

この「モチノキ」の所有者も保存を望んでおり、この地域の歴史の生き証人として、移植等の保存策を講じて戴きますよう、心よりお願い申し上げます。